

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

自らの意思と成長をもって、人々の生活を足元から支える

売上高

127,000百万円

営業利益

6,500百万円

当期純利益

4,100百万円

② 中長期の経営戦略

1. 建設事業戦略

2024年問題への対応、労働環境改善と多様な働き方実現。DX導入による生産性向上。PPP・海外・鉄道事業の強化と戦略的M&Aによる事業領域拡大。

3. コンサルティング事業戦略

既設舗装の健全性調査ソリューション（MWD Plus）。ライフサイクル・コスト最小化の維持修繕計画業務。環境配慮型・温室効果ガス削減設計ソリューション提供。

2. 製品事業戦略

アスファルト設備投資によるBCP強化。他業種用新素材展開による販路拡大。地球環境配慮製造装置への転換。工場設備DX化で省力化と品質向上。

4. 技術開発戦略

舗装長寿命化技術と予防的維持工法開発。路面太陽光発電技術と走行中ワイヤレス充電技術のイノベーション推進。デジタル技術活用のマネジメントシステム開発。

③ 対処すべき課題

① 労働環境と人材確保

- ・ 2024年問題への対応として労働時間適正管理と人材確保・教育育成
- ・ 高齢者や女性が継続して能力を発揮できる働き方の多様化
- ・ 従業員エンゲージメント向上と生産性向上の両立

② 経営環境の不確実性対応

- ・ 米国の関税政策やエネルギー・原材料価格の不確実性への注視
- ・ 為替変動と地政学リスクへの対応
- ・ ストレートアスファルト等の主材料価格変動への柔軟な販売戦略

③ 環境・サステナビリティ対応

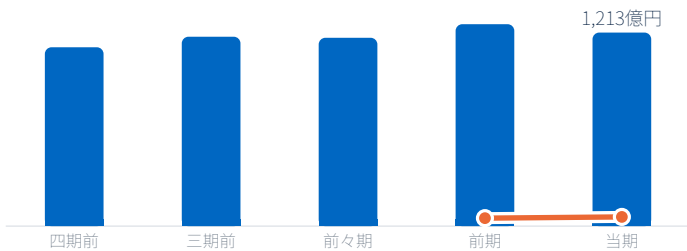
- ・ カーボンニュートラルへの対応と環境負荷低減製品開発
- ・ 常温舗装技術など創造的イノベーションの市場開拓
- ・ 持続可能な資材調達と長寿命化技術の展開

面接で使えるポイント

- ・ 創立100周年である2030年ビジョン『TOA STYLEをさらに磨き…
- ・ 2024年問題を変革の契機と捉え、DX導入による業務効率化、労働環境改善、人材育成に取り組み、多様な働き方を実現。
- ・ 路面太陽光発電技術や走行中ワイヤレス充電技術など、未来の舗装の新たな可能性を見出すイノベーションに挑戦。

証券コード 1882

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1,213億円営業利益率
4.8%財務健康度
50点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 63.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
870万円

建設業内 52位/140社

平均年齢
44.5歳

建設業内 41位/140社

平均勤続
19.0年

建設業内 18位/140社

女性管理職
0.8%

建設業内 105位/112社

男性育休
40.0%

建設業内 90位/104社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 東亜道路工業[1882]：訂正有価証券報告書一第120期(2)

